

登録コード	L2990700	開講年度	2026	
担当教員	原 明芳	副担当		
授業科目	博物館経営論			
英文授業名	Museum Administration			
授業タイトル				
単位数	2	対象学生		講義期間 後期 曜日・時限 月曜・3時限
講義室	人文第4講義室	遠隔授業科目		読替科目 読替科目は履修案内を確認すること
信大コンピテンシー	非該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		⇔	【授業の達成目標】
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ			
	【2022年度以前カリキュラム対象】変容する社会を冷静に分析し、時流に迎合することなく価値判断できる批判力		⇔	博物館の現状と課題、ミッションについて経営論的観点から深く理解し、批判的に論じることができるようになる。
	【2022年度以前カリキュラム対象】異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができる受容力		⇔	博物館の現状と課題、ミッションについて経営論的観点から深く理解し、それを受容しつつ論じることができるようになる。
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ			
	【2023年度以降カリキュラム対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・批判力】		⇔	博物館の現状と課題、ミッションについて経営論的観点から深く理解し、批判的に論じることができるようになる。
	【2023年度以降カリキュラム対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】		⇔	博物館の現状と課題、ミッションについて経営論的観点から深く理解し、批判的に論じ、かつ発信できるようになる。
	【2023年度以降カリキュラム対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】		⇔	博物館の経営に関する問題点を理解し、批判的に論じ、かつ将来、実践的に課題に取り組むための力が身についている。
授業で学べる「テーマ」	地域運営、多文化協働			
全学横断特別教育プログラム				
授業の概要	現在の博物館、主に公立博物館の問題点を具体的に抽出することによって、それらをミュージアムマネジメントという視点に立って、どのように解決すそいてきたのか、解決すべきか、どのような課題が残ったについて触れる。担当教員が学芸員として実務経験を活かして授業を進める。			
授業計画	第1回 博物館の経営 第2回 博物館の機能と役割 第3回 博物館の組織 第4回 博物館の運営計画 第5回 博物館経営の情報発信 第6回 博物館経営と展示 第7回 博物館経営と資料調査・研究 第8回 博物館経営と資料収集・保存 第9回 博物館経営とネットワーク 第10回 博物館経営と地域との連携 第11回 博物館経営と学校教育 第12回 博物館経営と観光・地域振興 第13回 さまざまな博物館（総合博物館） 第14回 さまざまな博物館（特定の文化財の保護のための博物館） 第15回 まとめと授業アンケート			
成績評価の方法	授業時のコメントシート（50%）、まとめレポート（50%）による			
成績評価の基準	レポートについて 授業で示した博物館経営に関する基本用語・事例を理解していれば「水準にある」。重要語句・重要事例に対する理解が進んでいれば「やや上にある」。授業内容をしっかり理解し、自身の見解も示せれば「かなり上にある」。授業内容を完全に把握し、さらに主体的な学習と思考が加えられていれば「卓越している」。			
事前事後学習の内容	レポートにおいては、授業内容を踏まえた記述を求めるので、授業内容・配布資料の復習に努めること。			
履修上の注意	なし			
質問、相談への対応	メールで対応します。 matsu bara@go.tvn.ne.jp			
教科書	なし			
参考書	水藤 真 『博物館学を学ぶ 入門からプロフェッショナルへ』山川出版社 2007年 真家 和生ほか 『大学生のための博物館学芸員入門』技報堂出版? 2014年 その他、授業の中で紹介する。			